

千葉県指定

伝統的工芸品 一覽



房総に息づく手づくりの技

TRADITIONAL CRAFTS OF CHIBA PREFECTURE, JAPAN

千葉県指定伝統的工芸品製作者一覧

はじめに

千葉県は、三方を海に囲まれた房総半島に位置し、気候温暖で自然豊かな土地であるとともに、400年もの間、我が国の政治や文化の中心となっている江戸、現在の東京都に近接していることなどから、人や物、文化などの様々な交流が盛んに行われてきたところです。

このような千葉県の風土と歴史の中で生まれ、育まれ、伝統的な技術・技法が受け継がれてきた伝統的工芸品には、私たちに潤いと安らぎを与えてくれるものが数多くあります。

県では、伝統的工芸品産業のより一層の発展を図るため、昭和59年度から、優れた工芸品を県指定伝統的工芸品として指定しています。

ふるさと千葉に息づくこれらの伝統的工芸品について、県民の皆様にご認識いただき、郷土が誇りうる工芸品となるようご支援・ご協力をお願いします。

千葉県伝統的工芸品の指定制度

県は、県内の伝統的工芸品を地場産業として育成するため、昭和59年度に県指定制度を発足させて、県内に息づく伝統的工芸品産業の振興に取り組んでいます。

下記の指定基準を満たした工芸品について、「千葉県伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が千葉県指定伝統的工芸品に指定しています。

- 1 製造過程の主要部分が手工的であること。
- 2 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
- 3 主たる原材料が、伝統的に使用されてきたものであること。
- 4 一定の期間、おおむね十年以上、県内で製造されているものであること。



千葉県指定伝統的工芸品の表示ラベル

このマークがついている製品は、千葉県知事が指定した伝統的工芸品です。

(指定番号順)

指定番号	指定年度	製作者名	指定品名	市町村	連絡先	掲載
6	昭和59	角田 光弘	萬祝半天	鴨川市	04(7092)0794	2
34	昭和59	田中 重己	刷毛	習志野市	047(472)3431	10
49	昭和60	矢部 宏	本納絵馬	茂原市	0475(34)3108	7
50	昭和60	矢吹 覚	べっ甲細工	松戸市	047(364)9606	11
54	昭和60	堀江 深一	籐製品	銚子市	0479(23)0806	9
57	昭和61	中澤 英高	友禅染	松戸市	047(367)9273	2
59	昭和61	芳澤 幸二	印旛竹細工	栄 町	0476(95)2531	5
63	昭和61	長谷川 照昭	上総獅子頭	山武市	0475(58)1428	8
65	昭和61	小澤 弘	へら浮子	旭 市	0479(63)9077	11
68	昭和61	加瀬 文夫	籐製品	銚子市	0479(22)5477	10
88	昭和63	千葉 惣次	芝原人形	長南町	0475(46)0850	7
91	平成元	鈴木 保雄	下総染小紋	船橋市	047(422)6284	2
93	平成2	小澤 克己	萬祝式大漁旗	銚子市	0479(22)2783	2
97	平成3	石塚 洋一郎	房総打刃物	成田市	0476(26)8061	5
101	平成3	穂積 実	江戸つまみかんざし	市川市	047(337)4506	8
104	平成4	岡村 洋一	節句人形	千葉市	043(232)2290	6
105	平成5	太田 衛	木地玩具	南房総市	0470(20)4082	3
106	平成5	仙田 秀一	ビーズ細工	柏 市	04(7143)4181	10
107	平成5	椎名 正夫	江戸神輿	我孫子市	04(7182)0333	8
109	平成5	倉持 進	上総木彫	九十九里町	0475(76)8774	3
110	平成5	江澤 利春	日本刀	南房総市	0470(36)3838	5
111	平成6	篠原 清治	手描友禅	松戸市	047(364)9769	2
113	平成6	松本 通男	佐原太鼓	香取市	0478(52)2787	7
115	平成7	古島 一良	籐家具	千葉市	043(241)3031	9
121	平成8	荒川 啓	象牙彫	松戸市	047(362)7124	9
124	平成8	久田 美智子	下総組紐	佐倉市	043(462)0475	3
130	平成9	宇梶 國雄	下総鉄	松戸市	047(341)4057	5
132	平成9	常世田 眞吉郎	銚子ちぢみ	銚子市	0479(22)2103	2
133	平成9	鈴木 幸祐	鴨川萬祝染	鴨川市	04(7092)1531	2
134	平成9	粕谷 雄治	房州鋸	鴨川市	04(7096)0349	5
135	平成9	太田 美津江	房州うちわ	南房総市	0470(33)2792	11
142	平成11	東 新治	佐原太鼓	香取市	0478(52)3991	7
147	平成13	森谷 糸	とんぼ玉	千葉市	043(237)7799	10
150	平成14	稲坂 徳太郎	佐倉鍛造刃物	酒々井町	043(496)1601	5
151	平成15	野崎 吉之	下総鉄	松戸市	047(362)3457	6
154	平成16	村杉 達雄	長生楊枝	睦沢町	0475(44)0304	3
156	平成16	金谷 司仁	角風・袖風	市原市	0436(61)0131	7
158	平成17	松田 周二	日本刀(美術刀剣)	千葉市	043(228)3044	6
159	平成18	八間川 義人	関東牛刀	柏 市	04(7193)0271	6
160	平成18	内山 春雄	楽堂象嵌(木象嵌)	我孫子市	04(7187)6605	3
161	平成19	都築 茂幸	木撥	流山市	04(7158)2352	7
163	平成19	森 隆夫	雨城楊枝	君津市	090(5407)6999	3
164	平成19	中山 幸雄	畑沢楊枝	木更津市	0438(37)4855	3
166	平成20	池上 豊	乗馬鞍	富里市	0476(93)3127	9

指定番号	指定年度	製作者名	指定品名	市町村	連絡先	掲載
167	平成20	石塚 祥二郎	成田打刃物	成田市	0476(26)8061	6
169	平成22	金谷 政司	角風・袖風	市原市	0436(61)0131	7
170	平成22	小峯 稔二	桶	野田市	04(7196)0132	4
171	平成22	駒野 幸子	とんぼ玉	千葉市	080(3534)9240	10
172	平成22	田島 義弘	屏風	市川市	047(357)6094	11
173	平成23	田中 宏平	刷毛	習志野市	047(472)3431	10
174	平成23	松澤 武人	節句人形	鎌ヶ谷市	047(443)4618	6
175	平成24	清水 吉郎	ちば楊枝	千葉市	043(261)3844	4
176	平成24	高橋 章雄	梅ヶ瀬楊枝	市原市	0436(62)1644	4
177	平成24	石井 登貴子	佐原ラフィア	香取市	0478(54)5641	9
178	平成25	浮原 忍	ちば黒文字・屏風楊枝	千葉市	043(228)2120	4
179	平成25	中村 航太	江戸組紐	松戸市	047(362)2667	3
180	平成25	山田 吉徳	節句人形(雛人形)	流山市	04(7158)4125	6
181	平成27	伊藤 知子	手描友禅	市川市	090(7013)8780	2
182	平成29	最首 善雄	建具組子	いすみ市	0470(62)1582	4
183	平成29	中臺 洋	行徳神輿	市川市	047(357)2061	8
184	平成29	高城 勇	打上げ花火	柏 市	04(7191)3376	8
185	平成29	穂積 裕	江戸つまみかんざし	市川市	047(337)4506	8
186	平成29	藤井 彩野	江戸つまみかんざし	松戸市	090(9142)1227	8
187	平成30	仙田 和雅	ビーズ細工	柏 市	04(7143)4181	10
188	平成30	加瀬 稔	籐製品	銚子市	0479(22)5477	10
189	令和元	宮澤 雅樹	萬祝式大漁旗	銚子市	0479(22)1135	2
190	令和元	穂積 裕子	江戸つまみかんざし	市川市	090(8852)3946	8
191	令和元	岩村 亮	市松人形	市川市	080(4115)7674	6
193	令和2	森谷 深冬	とんぼ玉	千葉市	043(237)7799	10
194	令和2	鈴木 広昭	大森尺八	勝浦市	0470(76)2659	7
195	令和2	井口 峰幸	大多喜焼	大多喜町	0470(84)0664	9
196	令和3	山本 富彦	南総竹細工	市原市	090(3210)4574	5
197	令和4	三浦 勝巳	日本産権器(琴・将棋盤)	山武市	0475(89)0008	4
198	令和4	大谷 智明	指物家具	長南町	0475(47)3530	4
199	令和4	福田 隆太	江戸組紐	市川市	03(3664)2031	3
200	令和5	石原 利晃	つまみかんざし	九十九里町	0475(76)8212	9
201	令和5	川島 康文	木彫(仏像彫刻)	いすみ市	080(6318)4426	4
202	令和6	相澤 宏文	衣裳着人形	印西市	0476(42)5511	6
203	令和6	東 龍彦	佐原太鼓	香取市	0478(52)3991	7
204	令和6	中村 俊一	房州切子	館山市	0470(27)4731	11
205	令和6	島田 由子	手描襖絵	柏市	080(3442)8998	9
206	令和7	小林 琢也	打上げ花火	君津市	0439(54)0720	8
207	令和7	穴戸 靖昌	和竿	千葉市	090(6512)2509	5
208	令和7	本杉 諭一	いすみ楊枝	いすみ市	080(2055)6047	4
209	令和7	鈴木 郁雄	へら浮子	栄町	0476(95)4853	11
210	令和7	一色 清	砂子細工	柏市	04(7144)3136	9
211	令和7	八木 昇	佐原耳かき	香取市	090(4620)6765	5

織物 Woven Patterns

指定番号132 (平成9年度指定)

ちょうし 銚子ちぢみ CHŌSHI-CHIJIMI

とよだ しんいちろう (銚子市) 常世田 眞一郎 (銚子市)



銚子ちぢみは、江戸時代に漁師の婦女子が出漁の安泰と豊漁を祈って、製造したのが始まりです。

明治時代末期に中断し、戦後、常世田さんの祖父によって再興され、昭和29年に県の無形文化財に指定されました。父の安弘さんが昭和59年度に伝統的工芸品の県指定を受け、三代にわたって伝統を守り続けています。

連絡先: 0479 (22) 2103 製作体験あり

染色品 Dyed Patterns

指定番号6 (昭和59年度指定)

まいわいはんてん MAIWAI-HANTEN

つのだ みつひろ (鴨川市) 角田 光弘 (鴨川市)



萬祝半天は、1923年の頃まで主に外房地域で盛んに作られていました。しかし、今では染屋も少なくなりました。柄は「三番盃」「恵比寿大黒」等約30種類ほどあります。全て手指し加工で、最後に顔や手足を筆入れして仕上げます。

角田さんは、江戸時代から続く染色技法を継承し、25歳から萬祝半天を製作しています。

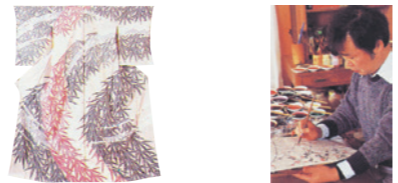
連絡先: 04 (7092) 0794

染色品 Dyed Patterns

指定番号57 (昭和61年度指定)

ゆうぜんぞめ 友禅染 YŪZEN-ZOME

なかざわ ひでたか (松戸市) 中澤 英高 (松戸市)



友禅染の歴史は江戸時代中期に始まり、今日でも日本の染色技法の中核を担っています。

中澤さんは、伝統ある友禅染技法の伝承を主な目的としている文化庁及び日本工芸会等が主催する日本伝統工芸展などを中心に作品を発表し、日本工芸会正会員として創作活動をしています。

連絡先: 047 (367) 9273 製作体験あり

紐・刺繍 Braided Cords and Embroidered Patterns

指定番号124 (平成8年度指定)

しもうさくみひも 下総組紐 SHIMŌSA-KUMIHIMO

ひさだ みちこ (佐倉市) 久田 美智子 (佐倉市)



組紐は、奈良時代に中国より仏教文化と供に渡来し、我が国独特の技術の発展により、日本組紐として優美な紐がつくられるようになりました。

久田さんは、昭和59年度に県指定を受けた父の久松さんの下で修業を重ね、二代目としてその技術を受け継いでいます。各種工芸品展などでの入賞経験もあります。

連絡先: 043 (462) 0475

紐・刺繍 Braided Cords and Embroidered Patterns

指定番号179 (平成25年度指定)

えどくみひも 江戸組紐 EDO-KUMIHIMO

なかむら こうた (松戸市) 中村 航太 (松戸市)



江戸組紐は、江戸時代の武家社会で必要とされた組紐と、江戸町民文化で磨かれた組紐の二つを源流に持っています。

中村さんは、松戸市内で約130年の歴史を持つ組紐製作工房の四代目として、「手組み・正絹・日本製」にこだわり、現代の着物姿に合う洗練された帯締め・羽織紐の製作を続けています。

連絡先: 047 (362) 2667

紐・刺繍 Braided Cords and Embroidered Patterns

指定番号199 (令和4年度指定)

えどくみひも 江戸組紐 EDO-KUMIHIMO

ふくだ りゅうた (市川市) 福田 隆太 (市川市)



組紐は、奈良時代に仏教と供に渡来し、我が国独特の技術の発展を経て、日本独自の組紐、優美な紐がつくられるようになりました。

福田さんは、現代の名工として認定を受けた父の隆さんの下で修業を重ね、伝統工芸技術を極めることに留まらず、現代に合った組紐の形を生み出すことにも積極的に挑戦しています。

連絡先: 03 (3664) 2031

染色品 Dyed Patterns

指定番号91 (平成元年度指定)

しもうさそめこもん SHIMŌSA-SOME-KOMON

すずき やすお (船橋市) 鈴木 保雄 (船橋市)



小紋染は、型紙を使用し、米糊を用いる染色技法です。江戸時代の武士の礼装であった袴から町人の小袖に至るまで広く愛好されて現在に至っています。

鈴木さんは、父の富雄さんの下で十代の頃から修行を重ね、全工程を昔ながらの技法で製作しています。古くからの型紙の復彫、染めにも取り組んでいます。

連絡先: 047 (422) 6284

染色品 Dyed Patterns

指定番号93 (平成2年度指定)

まいわいしきたいりょうばた MAIWAI-SHIKI-TAIRYŌBATA

おざわ かつみ (銚子市) 小澤 克己 (銚子市)



萬祝式大漁旗は、江戸時代から続く豊漁を祝う晴着「萬祝着」の染色技術を継承し、綿布にもち米の糊で文字や絵を描き染色したもので、漁船の進水式、結婚などの祝用の旗として製作されています。

小澤さんは、15歳でこの道に進み、父の忠一さんの下で、腕を磨いてきました。

連絡先: 0479 (22) 2783

染色品 Dyed Patterns

指定番号111 (平成6年度指定)

てがきゆうぜん 手描友禅 TEGAKI-YŪZEN

しのはら きよはる (松戸市) 篠原 清治 (松戸市)



友禅染の歴史は江戸時代中期に始まり、今日でも日本の染色技法の中核を担っています。

篠原さんは、京友禅や加賀友禅と並び三大友禅と称される東京手描友禅の技法を継承しています。松戸市に工房を構えて40年、女性の個性に合った個性豊かな美しい着物を創作しています。

連絡先: 047 (364) 9769 製作体験あり

木工品 Woodcraft

指定番号105 (平成5年度指定)

きじがんぐ 木地玩具 KIJI-GANGU

おおた まもる (南房総市) 太田 衛 (南房総市)



木地玩具とは、「ろくろ」で作る木製玩具のことを言い、独楽、輪抜きダルマ、けん玉、車ものなどがあります。

太田さんは、昭和54年より修業を重ね、江戸時代からの伝統技術を用い、ケンカ独楽、ダルマ回し等を製作。単純な動きの中に、人の気持ちをくすぐる洒落った気のある木地玩具を作っています。

連絡先: 0470 (20) 4082

木工品 Woodcraft

指定番号109 (平成5年度指定)

かすさきぼり 上総木彫 KAZUSA-KIBORI

くらもち すむ (九十九里町) 倉持 進 (九十九里町)



上総木彫とは、それぞれの木の持つ表情を活かし、立体的な絵柄を浮かび上げさせていく技法で、食器、盆、素彫品等を製作しています。

倉持さんは、21歳から関東各地で修行を重ねた後、昭和55年に千葉県に戻りました。

現在は、九十九里町にて長年培った経験を活かし、木彫作品の製作を続けています。

連絡先: 0475 (76) 8774

木工品 Woodcraft

指定番号154 (平成16年度指定)

ながいきようじ 長生楊枝 NAGAIKI-YŌJI

むらさき たつお (陸沢町) 村杉 達雄 (陸沢町)



長生楊枝は、雨城楊枝の流れをくみ、黒文字に装飾を施した楊枝です。

村杉さんは、いずみ楊枝の高木守人氏に師事し、平成16年に、その流れをくむ製作者として「長生楊枝」の銘を許されました。材料の採取から製作に至るまで自らの手作業で行うことにより、江戸時代に始まる楊枝づくりの伝統を守り続けています。

連絡先: 0475 (44) 0304

染色品 Dyed Patterns

指定番号133 (平成9年度指定)

かもがわまいわいぞめ 鴨川萬祝染 KAMOGAWA-MAIWAI-ZOME

すずき こうすけ (鴨川市) 鈴木 幸祐 (鴨川市)



萬祝は、もともと豊漁に際して船主が褒賞として漁師に贈る晴れ着であり、豊漁祈願などの際に帯を締めずに着物の上から羽織るので、縁起のいい図柄が極彩色で染め抜かれています。

鈴木さんは、「萬祝長着」で県の指定を受けた父の榮二さんの技術を受け継ぎながら、暖簾など染色技術を現代風に生かしています。

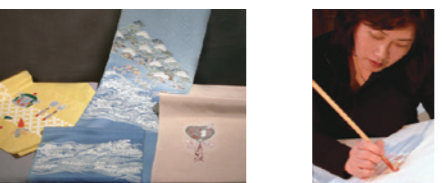
連絡先: 04 (7092) 1531 製作体験あり

染色品 Dyed Patterns

指定番号181 (平成27年度指定)

てがきゆうぜん 手描友禅 TEGAKI-YŪZEN

いとう とみこ (市川市) 伊藤 知子 (市川市)



友禅染の歴史は江戸時代中期に始まり、今日でも日本の染色技法の中核を担っています。

伊藤さんは、京友禅や加賀友禅と並び三大友禅と称される東京手描友禅の技法を継承しています。伝統を守りつつも新たな作品づくりにも取り組んでおり、次の世代にも引き継いでいきたいと意欲的に活動しています。

連絡先: 090 (7013) 8780

染色品 Dyed Patterns

指定番号189 (令和元年度指定)

まいわいしきたいりょうばた 萬祝式大漁旗 MAIWAI-SHIKI-TAIRYŌBATA

みやざわ まさき (銚子市) 宮澤 雅樹 (銚子市)



萬祝式大漁旗は、江戸時代に漁師の間で広まった豊漁を祝う晴着「萬祝着」の図柄を船旗に描いたものです。

宮澤さんは、昭和60年県指定を受けた父の紀年さんの下で修業し、萬祝の製法を受け継ぎ、世界で一枚の祝旗を手作りで製作。現代風にアレンジした作品は、銚子土産として好評です。

連絡先: 0479 (22) 1135

木工品 Woodcraft

指定番号160 (平成18年度指定)

らくどうぞうがん 楽堂象嵌 (木象嵌) RAKUDŌ-ZŌGAN (MOKU-ZŌGAN)

うちやま はるお (我孫子市) 内山 春雄 (我孫子市)



木象嵌とは、切り抜かれた色合いの異なる木片を地板に空けた穴にはめ込む工程を繰り返すことで模様や絵画を作製する技法です。

内山さんは、機械式糸鋸を用いた「糸鋸象嵌」のうち「一分象嵌」と「セン象嵌」の両方の技術の保持者です。最も難しい「垂直挽き」を考案し「楽堂象嵌」と名付けました。

連絡先: 04 (7187) 6605

木工品 Woodcraft

指定番号163 (平成19年度指定)

うじょうようじ 雨城楊枝 UJŌ-YŌJI

もり たかお (君津市) 森 隆夫 (君津市)



雨城楊枝は、江戸時代より上総地方で作られてきた黒文字(クスノキ科落葉低木)を使った楊枝に、明治の末に先々代の森安蔵氏が、樹皮に模様を彫るなどして考案した装飾性・芸術性の高い楊枝です。

森さんは、父である先代光慶氏から技術を、後継者として銘「光慶」を受け継ぎ、伝統の楊枝づくりを続けており、令和7年6月には皇室に献上されました。

連絡先: 090 (5407) 6999 製作体験あり

木工品 Woodcraft

指定番号164 (平成19年度指定)

はたざわようじ 畑沢楊枝 HATAZAWA-YŌJI

なかやま ゆきお (木更津市) 中山 幸雄 (木更津市)



畑沢楊枝は、雨城楊枝の流れをくみ、黒文字に装飾を施した楊枝です。

中山さんは、雨城楊枝の先代の森光慶氏に師事し、平成16年に、技能後継者として「畑沢楊枝」の銘を許されました。材料採取から製作に至るまで、全ての工程を一人の職人が手作業で行い、削りや細工の熟練した技能が、黒文字の香りを一層引き立たせています。(製作体験は要予約1回2名まで)

連絡先: 0438 (37) 4855 製作体験あり

木工品 Woodcraft 指定番号 170 (平成22年度指定)

おけ 桶 OKE

こみね しょうじ 小峯 稔二 (野田市)



小峯さんは、父である吉一さんから受け継いだ、たがに洋銀を用いるなどの技術技法に磨きをかけてきました。

風呂桶を中心に、伝統技法を生かした様々な桶の製作に取り組んでおり、飯台や飯櫃には、木曾・上松産の榧しか使わないこだわりを持っています。

連絡先：04 (7196) 0132

木工品 Woodcraft 指定番号 175 (平成24年度指定)

ようじ ちば楊枝 CHIBA-YŌJI

しみず よしお 清水 吉郎 (千葉市)



ちば楊枝は、雨城楊枝の流れをくみ、黒文字に装飾を施した楊枝です。

清水さんは、いすみ楊枝の高木守氏に師事し、楊枝製作の伝統技術を得ました。

作る楊枝は、「末広」、「鉄砲」、「キセル」、「梅」、「白魚」など30種類。伝統的な楊枝の型や技術を、次の世代に広く普及させたいと語っています。

連絡先：043 (261) 3844

木工品 Woodcraft 指定番号 176 (平成24年度指定)

うめがせようじ 梅ヶ瀬楊枝 UMEGASE-YŌJI

たかはし おきお 高橋 章雄 (市原市)



梅ヶ瀬楊枝は、市原市にある梅ヶ瀬溪谷の黒文字を使った楊枝に、樹皮に模様を彫るなど装飾性・芸術性の高い楊枝です。

高橋さんは、伝統技術を継承しながらも、新しい形の楊枝製作に取り組んでおり、後継者である弟子に伝授するとともに、梅ヶ瀬楊枝の良さや技法を伝えていきたいと語っています。

連絡先：0436 (62) 1644

木工品 Woodcraft 指定番号 211 (令和7年度指定)

さわらみみ 佐原耳かき SAWARA-MIMIKAKI

やぎ のぼる 八木 昇 (香取市)



八木さんは、先代である父の實さんから耳かきの製作技術を習得しました。

原材料の「唐木の名木」は、安土桃山時代に日本に伝来したものであり、唐木の切り出しから仕上げの表面加工まで、全て手作業で行っており、購入者の希望に合わせて先端部分の形状を調整するほか、持ち手の握りやすさにもこだわるなど、使用感を追求しています。

連絡先：090 (4620) 6765

竹工品 Bamboocraft 指定番号 59 (昭和61年度指定)

いんばたけざいく 印旛竹細工 INBA-TAKE-ZAIKU

よしざわ こうじ 芳澤 幸二 (栄町)



印旛竹細工は、茶籠や花籠を作る竹細工です。製作に用いられる煤竹は古民家の屋根の骨組みに使用されていた真竹で、数百年かけて燻されて深い小豆色を呈します。

芳澤さんは、真竹を用いて茶道や花道で使用される作品を多く製作しています。仕上げの漆は何度も塗り重ねることで作品の耐久性を向上させます。

連絡先：0476 (95) 2531

竹工品 Bamboocraft 指定番号 196 (令和3年度指定)

なんそうたけざいく 南総竹細工 NANSŌ-TAKE-ZAIKU

やまもと とみひこ 山本 富彦 (市原市)



南総竹細工は、昔からの技術・技法を生かし、美術的な要素を加えた花籠等を製作するものです。

山本さんは、この技術を昭和63年に県指定を受けた八木澤祐三氏から継承し、培った経験を生かして日常で使用できる竹籠バッグ等の製作など、工夫を加えた竹細工技術の活用に取り組んでいます。

連絡先：090 (3210) 4574

木工品 Woodcraft 指定番号 178 (平成25年度指定)

くろもじ かんぼくふさようじ ちば黒文字・肝木房楊枝 CHIBA-KUROMOJI・KANBOKU-FUSAYŌJI

うきはら しのぶ 浮原 忍 (千葉市)



楊枝(歯木・インド発祥)は538年仏教と共に伝来し、江戸時代に改良された爪楊枝、舌掃除、歯ブラシの機能を備えた房楊枝の出現で庶民まで普及。黒文字楊枝・箸(茶道用)。

浮原さんは、研究を深めてきた結果、作品は多くの博物館や大学の教材、歌舞伎や時代劇映画、TVに活用されています。文化遺産と言える房楊枝の復元制作が可能なのは、日本で唯一人です。雅号「守破離道心」。

連絡先：043 (228) 2120

木工品 Woodcraft 指定番号 182 (平成29年度指定)

たてぐくみこ 建具組子 TATEGU-KUMIKO

さいしゅ よしお 最首 善雄 (いすみ市)



組子とは、釘を使わずに木を1本1本組み付けしていく技術で、飛鳥時代から長い年月をかけて磨き抜かれた木工技術です。

県指定を受けた父の最首さんと先々代の祖父から伝統的な技法を受け継ぐ3代目。組子細工を施した衝立は芸術性も高く、亜細亜現代美術展にて、2年連続入賞した実績もあります。

連絡先：0470 (62) 1582

木工品 Woodcraft 指定番号 197 (令和4年度指定)

にほんさんかやい ござん・しょうぎばん 日本産榎囲碁盤・将棋盤 NIHONSAN-KAYAI-GOBAN・SHOGIBAN

みづら かつみ 三浦 勝巳 (山武市)



日本産榎囲碁盤・将棋盤は、その名の通り、今では大変貴重となった国産の榎に拘って製作された囲碁盤・将棋盤です。

三浦さんは、日本産の榎に拘り、自ら丸太を仕入れて製材し、盤から脚までを一貫して製作する国内でも数少ない盤師であり、その中でも更に数少ない、駒の成形や駒台、駒箱の製作までできる大変貴重な盤師です。

連絡先：0475 (89) 0008

竹工品 Bamboocraft 指定番号 207 (令和7年度指定)

わざお 和竿 WAZAO

ししど やすまさ 穴戸 靖昌 (千葉市)



和竿は、江戸時代に誕生し、研鑽を重ねた竿師により伝承された釣竿です。

穴戸さんは、ヘラ竿の第一人者である故竿春親方に師事し、技術を習得しました。真竹、布袋竹、矢竹、煤竹など、強度やしなり具合が異なる複数の竹を組み合わせ、こだわりの一竿を作り上げるために、これらの竹を自ら丹精込めて栽培しています。屋号は「竿昌」。

(ギャラリーのみ見学可能)

連絡先：090 (6512) 2509 **見学のみの可能**

金工品 Metalwork 指定番号 97 (平成3年度指定)

ぼうそううち は もの 房総打刃物 BŌSŌ-UCHIHAMONO

いしづか よういちろう 石塚 洋一郎 (成田市)



房総打刃物は、日本のラシャ切刃の創製者である吉田弥十郎氏の流れをくむ、総火造りによる鉾などの刃物です。


石塚さんは、吉田氏に師事した祖父と父正次郎さんの技術を受け継ぎ、昭和56年度に「現代の名工」に選ばれた偉大な父を超えることも後継者としての使命だと語り、製作活動に情熱を傾けています。

連絡先：0476 (26) 8061

金工品 Metalwork 指定番号 110 (平成5年度指定)

にほんとう 日本刀 NIHONTŌ

えざわ としはる 江澤 利春 (南房総市)



古来から美術品としても価値のある日本刀。

江澤さんは、昭和49年に人間国宝である隅谷正峯氏に師事し、昭和54年に文化庁より刀剣製作の承認を受け、昭和55年に独立して鍛錬所を開設しました。新作名刀展において特別賞(日本美術刀剣協会長賞)など数々の受賞があります。刀銘は「利宗」。

連絡先：0470 (36) 3838

木工品 Woodcraft 指定番号 198 (令和4年度指定)

さしものかく 指物家具 SASHIMONO-KAGU

おおたに ともあき 大谷 智明 (長南町)



指物家具の由来はいくつかありますが、木材に「ホゾ」と言われる凸凹をつくり、木と木を「さし合わせる」ことから指物というのが有力です。その指物技法を用いて製作した家具を指物家具と言います。

大谷さんは、家具産地静岡にて家具指物師に師事し、独立後、長南町に移転し伝統工法を用いたオリジナル家具を製作しています。

連絡先：0475 (47) 3530

木工品 Woodcraft 指定番号 201 (令和5年度指定)

もくちょう ぶつぞうちようこく 木彫(仏像彫刻) MOKU-CHŌ

かわしま やすふみ 川島 康文 (いすみ市)



川島さんは、伝統的な仏像彫刻技法を10年間仏師の元で修業して習得しました。平成12年に独立して以来、寺院に祀る如来像、菩薩像、不動明王像や神社の神像など数多くの作品を手掛けてきました。また童のおじぞうさまや荒彫彫刻など、自らの感性を生かした新しい作品作りにも意欲的に取り組んでいます。

連絡先：080 (6318) 4426

木工品 Woodcraft 指定番号 208 (令和7年度指定)

いすみ楊枝 یشمی-YŌJI

もとすぎ ゆいち 本杉 諭一 (いすみ市)



いすみ楊枝には、全国的に見ても特に質の高い千葉県産の「黒文字」が使用されており、爽やかな香りと真白な色味が特徴です。

本杉さんは、平成3年に県の指定を受けた故高木守人さんから技術を習得し、黒文字の伐採から製作に至るまで、全て手作業で行っています。

現在は、公民館などで、地元の方を対象に楊枝づくり教室を開催し、技術の継承にも取り組んでいます。

連絡先：080 (2055) 6047 **製作体験あり**

金工品 Metalwork 指定番号 130 (平成9年度指定)

しもうさばさみ 下総鋏 SHIMŌSA-BASAMI

うかし くにお 宇梶 國雄 (松戸市)



明治初期に厚手の服地と一緒に輸入された裁断用の鋏は、大きく重くて日本人には扱いにくかったため、扱いやすく改良したものが下総鋏です。

宇梶さんは、日本のラシャ切鋏創製者の吉田弥十郎氏の流れをくみ、親子二代にわたりラシャ切鋏を専門に製作しています。

連絡先：047 (341) 4057

金工品 Metalwork 指定番号 134 (平成9年度指定)

ぼうしゅうのこぎり 房州鋸 BŌSHŪ-NOKOGIRI

かすや ゆうじ 粕谷 雄治 (鴨川市)



船鋸は、堅い木材を使用する和船を製造する際に用いた鋸で、切れ味と耐久性が求められたため、数十工程を経て製作されています。

現在では、その製造技術を活かし、剪定用鋸をはじめ、生け花や工芸向きなどの用途に応じて製作されています。

粕谷さんは、「中屋雄造正直」の銘を先代から受け継ぎ、その伝統を守っています。

連絡先：04 (7096) 0349

金工品 Metalwork 指定番号 150 (平成14年度指定)

さくらたんぞう は もの 佐倉鍛造刃物 SAKURA-TANZŌ-HAMONO

いなさか とくたろう 稲坂 徳太郎 (酒々井町)




佐倉鍛造刃物は、農具を中心に作られてきましたが、現在では、包丁や小刀等の日常生活用品を製作しており、使い込むほど手に馴染み、愛着を持って長く使える鍛造刃物です。

稲坂さんは、13歳から父の手ほどきを受け、総火造りの手法を受け継ぎ、半世紀以上にわたり刃物造りに取り組んでいます。

連絡先：043 (496) 1601

金工品 Metalwork 指定番号 151 (平成15年度指定)

しも うさ ばさみ SHIMŌSA-BASAMI
の ざき よしゆき 野崎 吉之 (松戸市)




木鋏には、花鋏、植木鋏など、用途、植物の種類によって多種多様な形があります。野崎さんは、県指定を受けた伯父の喜一郎さんと父の吉之助さんからその技術を受け継ぎ、日々研鑽しています。鋏の刃と刃の噛み合わせは、物が楽に切れ、しかも軽量に作られています。銘は初代より「光吉之」。

連絡先：047 (362) 3457

金工品 Metalwork 指定番号 158 (平成17年度指定)

に ほん とう 日本刀 (美術刀剣) SHIMONANTŌ
ま つ だ しゅうじ 松田 周二 (千葉市)




松田さんの作る刀剣は古刀の味わいがあり、物静かで繊細な刃文が特徴です。昭和49年に刀匠故高橋次平氏に師事し、昭和55年に文化庁より作刀承認許可を受け、以降鎌倉時代の刀の再現にこだわり製作しています。文化庁長官賞や高松宮記念賞などを受賞し、平成21年には刀鍛冶の最高位である無鑑査に認定、平成27年には千葉県指定無形文化財保持者となっています。刀匠名「次泰」。

連絡先：043 (228) 3044

金工品 Metalwork 指定番号 159 (平成18年度指定)

かん とう ぎゅう とう 関東牛刀 KANTŌ-GYŪTŌ
や ま か わ よし と 八間川 義人 (柏市)



関東牛刀は、東京周辺で生産されていた牛刀(洋包丁)であり、原材料の鋼材から成形、焼入焼戻、研ぎ、柄付けなど、全ての工程を伝統的な総手づくりで仕上げられています。八間川さんは、代々刃物鍛冶の故関守永氏が継承していた伝統技術を受け継いでいます。銘は「光月」。

連絡先：04 (7193) 0271 製作体験あり

郷土玩具 Folk Toys 指定番号 88 (昭和63年度指定)

しば はら にんぎょう 芝原人形 SHIBAHARA-NINGYŌ
ち ば そうじ 千葉 惣次 (長南町)



芝原人形は、浅草の今戸人形を元に、明治初期から長南町芝原で作られ続けてきた郷土玩具であり、粘土板を抜型に入れ、乾燥、素焼きし、糊粉をかけ、泥絵具で彩色した素朴な味わいのある人形です。千葉さんは、陶芸を学んだ後、一時途絶えていた芝原人形を復元、四代目を継承しています。地元では「しばらにんぎょう」とも呼ばれています。

連絡先：0475 (46) 0850

郷土玩具 Folk Toys 指定番号 156 (平成16年度指定)

かく だ こ そで だ こ 角凧・袖凧 KAKUDAKO・SODEDAKO
か な や もりひと 金谷 司仁 (市原市)

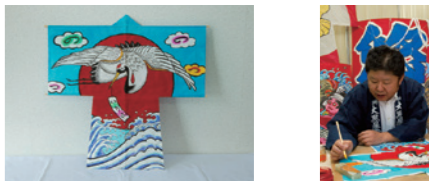


角凧・袖凧は、上総地方で、男児が誕生するとその子の健康と出世を願い、端午の節句に凧を贈る風習があるなど、各種慶事に用いられてきました。金谷さんは、昭和25年から凧作りを始め、先々代が大正時代に描いた下絵を参考に製作しています。凧愛好者の集いに参加するなどして、凧の素晴らしさを伝えています。

連絡先：0436 (61) 0131

郷土玩具 Folk Toys 指定番号 169 (平成22年度指定)

かく だ こ そで だ こ 角凧・袖凧 KAKUDAKO・SODEDAKO
か な や せいじ 金谷 政司 (市原市)



角凧・袖凧は、上総地方で、男児が誕生するとその子の健康と出世を願い、端午の節句に凧を贈る風習があるなど、各種慶事に用いられてきました。金谷さんは、明治38年の創業以来、四代にわたって凧作りを続けており、平成16年に県指定を受けた父の司仁さんから家伝の伝統技法を習得しました。

連絡先：0436 (61) 0131

金工品 Metalwork 指定番号 167 (平成20年度指定)

なり たう ち は もの 成田打刃物 NARITA-UCHIHAMONO
いしづか しょうじろう 石塚 祥二郎 (成田市)



成田打刃物は、刀匠の流れをくみ、裁ち鋏の形状の利点を取り入れた、独特の風合いのある刃物類です。総火造りで製作される刃物は、強靱な粘りがあり、切れ味の良さが続くとともに、錆びにくいことが特長です。石塚さんは、伝統技法を守りながら、現代の生活にも受け入れやすい工芸品づくりを目指しています。

連絡先：0476 (26) 8061 製作体験あり

人形 Dolls 指定番号 104 (平成4年度指定)

せ っ く にんぎょう 節句人形 SEKКУ-NINGYŌ
お か む ら ひろかず 岡村 洋一 (千葉市)



節句人形は、子供の成長を願い、古くから日本の季節行事として親しまれ引き継がれてきた桃の節句、端午の節句のときに飾る「ひな人形」、「五月人形」です。岡村さんは、節句人形の頭を作る頭師です。頭づくりは全て手作業で行い、特に神経を使うのが、目の切り出しで、人形に生命を吹き込んでいきます。

連絡先：043 (232) 2290

人形 Dolls 指定番号 174 (平成23年度指定)

せ っ く にんぎょう 節句人形 SEKКУ-NINGYŌ
ま つ ざ わ たけひと 松澤 武人 (鎌ヶ谷市)



節句人形は、子供の成長を願い、古くから日本の季節行事として親しまれてきた桃の節句、端午の節句のときに飾る「雛人形」、「五月人形」です。松澤さんは、節句人形づくりの四代目であり、父の一男さんから受け継ぎ、磨きをかけてきた技術が次代に引き継がれ、更に発展していくよう努めたいと語っています。

連絡先：047 (443) 4618 製作体験あり

和楽器 Japanese Musical Instruments 指定番号 113 (平成6年度指定)

さ わら だ い こ 佐原太鼓 SAWARA-DAIKO
ま つ も と みち お 松本 通男 (香取市)



太鼓には、原材料である櫟を原木のまま仕入れ、胴づくり、皮の加工、張り上げまでの工程があり、その大部分を手作業で行っています。松本さんは、昭和47年より父の下で太鼓製作技術を習得し、四代目として製作に励んでいます。製作された太鼓は、地元の「佐原囃子」の演奏や関東各地のお祭り等で使用されています。

連絡先：0478 (52) 2787 見学のみ可能

和楽器 Japanese Musical Instruments 指定番号 142 (平成11年度指定)

さ わら だ い こ 佐原太鼓 SAWARA-DAIKO
あ す ま しんじ 東 新治 (香取市)



東さんは、平成6年度に県の伝統的工芸品に指定された「佐原太鼓」の製作者であり、父でもある「秀行」さん(故人)から伝統技術、技法を受け継ぎ、四代目としてその保存・向上に意欲的に取り組んでいます。小太鼓から大太鼓まで、各種の和太鼓の本体・皮のなめし・張り等全工程の希少な技術を修得しています。

連絡先：0478 (52) 3991 見学のみ可能

和楽器 Japanese Musical Instruments 指定番号 161 (平成19年度指定)

き ば ち 木撥 KIBACHI
つ ぶ き しげゆき 都築 茂幸 (流山市)




木撥には、地元の流山の白樫が光沢もよく、撥材料として最も適していることから、先代よりこの地で製作しています。都築さんは、四代目であった父の操さんの下で修業し、江戸時代創業の邦楽器製造の老舗「撥幸」の後継者となり、弟とともに木撥作りを伝えています。

連絡先：04 (7158) 2352

人形 Dolls 指定番号 180 (平成25年度指定)

せ っ く にんぎょう 節句人形 (雛人形) SEKКУ-NINGYŌ
や ま だ よしのり 山田 吉徳 (流山市)



子供の成長を願い、古くから日本の節句行事を通じ親しまれてきた「雛人形」や「五月人形」。山田さんは、令和6年に経済産業大臣指定江戸節句人形伝統工芸士人形部門に認定されました。また着付け師として雛人形の胴部や手の振り付けを行い、伝統にこだわりながら時代のニーズに合った雛人形製作に取り組んでいます。

連絡先：04 (7158) 4125

人形 Dolls 指定番号 191 (令和元年度指定)

い ち ま つ にんぎょう 市松人形 ICHIMATSU-NINGYŌ
い わ む ら りょう 岩村 亮 (市川市)



市松人形は、江戸時代の歌舞伎役者、佐野川市松に似せて作られたことに由来するとされ、「いちまさん」の愛称でも親しまれてきました。岩村さんは、現代に残る数少ない市松人形師の号である松乾齋東光の四代目として伝統の技法を現代に残すべく、市松人形の製作と普及に取り組んでいます。

連絡先：080 (4115) 7674

人形 Dolls 指定番号 202 (令和6年度指定)

い し ょ う ぎ にんぎょう 衣裳着人形 ISHŌGI-NINGYŌ
あ い ざ わ ひろふみ 相澤 宏文 (印西市)



衣裳着人形は、子どもの成長を願い、季節行事として親しまれ続けてきた桃の節句、端午の節句に飾る「雛人形」「五月人形」です。相澤さんは、人形の胴を作る胴師です。織元に赴き厳選した京都西陣正絹布地で作成した美しい衣裳が特色であり、手足の振付で優雅な表情を表現しています。

連絡先：0476 (42) 5511 見学のみ可能

和楽器 Japanese Musical Instruments 指定番号 194 (令和2年度指定)

お も り し ゃ く は ち 大森尺八 OMORI-SHAKUHACHI
す す き ひろあき 鈴木 広昭 (勝浦市)



大森尺八は、地元の真竹を原材料として、中継ぎに山桜の樹皮を巻き付けたり、螺鈿を施したりして全体の調和を重視しています。鈴木さんは、師匠の名を受け継ぎ、二代目「東照」(とうしょう)として地元で尺八の製作と普及に尽力しており、良い音と美しい管の追求を神髄として取り組んでいます。

連絡先：0470 (76) 2659

和楽器 Japanese Musical Instruments 指定番号 203 (令和6年度指定)

さ わら だ い こ 佐原太鼓 SAWARA-DAIKO
あ す ま たつひこ 東 龍彦 (香取市)




東さんは平成11年度に県の伝統的工芸品に指定された「佐原太鼓」の製作者であり、父でもある「新治」さんから伝統技術、技法を受け継ぎ、五代目としてその保存・向上に意欲的に取り組んでいます。小鼓や大鼓、大太鼓など各種の和太鼓の本体・皮のなめし・張り等全工程の希少な技術を修得しています。

連絡先：0478 (52) 3991 見学のみ可能

神祇器 Religious/Festive Ornaments 指定番号 49 (昭和60年度指定)

ほん の う え ま 本納絵馬 HONNŌ-EMA
や べ ひろし 矢部 宏 (茂原市)



絵馬は何かを祈願するとき、祈願した願いが叶ったときに寺社に奉納するものです。矢部さんは高祖父の代から絵馬を手掛け、信仰奉納用のほか、室内装飾用の絵馬も製作しています。本納絵馬は日本画の技術を取り入れ、絵画性の高いものである点に特色があります。

連絡先：0475 (34) 3108 製作体験あり